

環境産業委員会会議録

- 1 期 日 平成25年6月26日(水)
- 2 会 場 第1委員会室
- 3 開会時刻 午前10時04分
- 4 閉会時刻 午前11時31分
- 5 出席者 委員長 草賀章吉 副委員長 中上禮一
委員 大石與志登 委員 二村禮一
委員 山本行男 委員 栗原通泰
委員 竹嶋善彦 委員 高木敏男
- (当局側) 副市長、環境経済部長、都市建部長、佐藤参与
(事務局) 議事調査係 鈴木康倫
- 6 審査事項
- ・議案第83号
平成25年度掛川市一般会計補正予算(第2号)について
第1条 歳入歳出予算の補正
歳入中 所管部分
歳出中 第4款 衛生費(第2項)
第5款 労働費
第6款 農林水産業費
第7款 商工費
第8款 土木費
第11款 災害復旧費
 - ・議案第84号 平成25年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算(第1号)について
 - ・閉会中継続調査申し出事項について 12項目
- 7 会議の概要
別紙資料のとおり

以上のとおり、報告いたします。

平成25年6月26日

市議会議長 大石與志登 様

環境産業委員長 草賀章吉

7 会議の概要

平成25年6月26日（水）午前10時04分から、第1委員会室において全委員出席のもと開催。

1) 委員長あいさつ

2) 当局（副市長）あいさつ

3) 付託案件審査

①議案第83号 平成25年度掛川市一般会計補正予算（第2号）について

第1条	歳入歳出予算の補正
歳入中	所管部分
歳出中	第4款 衛生費（2項）
	第5款 労働費
	第6款 農林水産業費
	第7款 商工費
	第8款 土木費
	第11款 災害復旧費

第4款 衛生費

〔環境政策課、説明 10:06～10:07〕

〔質 疑 10:08 ～10:10 〕

○栗原通泰委員

案内看板の3カ所は茶草場周辺だけということか。

●榛村環境政策課長

栗ヶ岳山頂と地元と調整しながら主な所に設置し、生物多様性の保護を目的に設置します。

○栗原通泰委員

それで十分という判断か。

●榛村環境政策課長

生物多様性の保護以外の観光案内看板は農林課から予算計上しています。

●綱取商工観光課長

詳細は別途説明しますが、大型の看板は4基、従来あるハイキングコース等の看板や栗ヶ岳までのルート案内看板を20カ所予定しています。

第5款 労働費

第7款 商工費

〔商工観光課、説明 10:11～10:16〕

〔質 疑 10:16 ～10:28 〕

○山本行男委員

緊急雇用について、別紙の9番目だがもう少しかみ砕いて言いうとどういう意味か。

●榛葉都市政策課長

今回都市政策課が活用する掛川市緑地保全方策検討調査事業について説明させていただきます。
緑に関する総合的マスタープラン（緑の基本計画）を策定するものであります。この計画の経緯は、旧掛川市においては、平成13年度に策定し平成15年度に見直しを行った後は手つかずとなっています。また、旧大東町・大須賀町におきましては、昭和55年度に策定し平成6年度に広域都市計画区域マスタープラン（緑のマスタープラン）として見直しを行った以降、手つかずとなっています。旧大東町・大須賀町の計画目標年次が平成22年度となっており、既に年度を過ぎた状況であります。また、旧掛川市においても目標年次が平成27年度となっていることから、今年度から着手することにより、現計画の有効期限内に見直しを図り、合併後の新掛川市の計画として移行するものであります。この成果につきましては都市計画マスタープランとの整合や連携、都市計画法に基づく都市施設、公園や緑地などの設置等に関する決定変更について、この緑の基本

計画が上位計画として位置づけられ関係機関との協議がスムーズに行えることとなります。以上のことから今回この雇用促進事業を活用して、緑の基本計画を策定していきたいということです。

○山本行男委員

役所の言葉遣いは難しいので、わかりやすい言葉でいうと、緑の自然がどれくらい残っているのか調査するという事か。

●榛葉都市政策課長

緑の基本計画というのは、都市緑地保全法第2条の2の規程に基づき市町村が主体となって定める緑地の適正な保全及び緑化の推進に関する総合的な計画ということになりますので、掛川市内の緑をこの計画の中でどのように持って行くかということを含めていくことになります。

○栗原通泰委員

都市政策課主管で取り組んだ結果については、環境保全の問題にも絡んでくると思うが、そことの連携はどのように考えているか。

●榛葉都市政策課長

掛川市全域の話になりますので、当然議会の方にも説明させて頂きまし、市民の方々にも説明させていただく場面を作ります。そのような中では環境についても関連がありますので、そのような場面において説明させていただくという形になります。

○栗原通泰委員

庁内の中でどのように生かしていくのかということを考えているのか。

●本多都市政策課計画係長

この基本計画を策定するにあたり、庁内のワーキングを組織して、緑の関係になりますと地域支援課のみどり推進係、環境政策課、企画調整だつたりと幅広く関係していますので、そのワーキングの中で基本方針や進め方についても検討させて頂きながら途中経過については、全員協議会にもお諮りしながら進めていきたいと考えています。

○山本行男委員

消費者に関する質問です。消費者関係は女性の方が2名、職員が1名でもう一人いたと思いますが、この1名の身分は。

●綱取商工観光課長

商工労政係に正規職員1名と非常勤職員で消費生活相談員が1名の配置となっています。相談員は、毎日たくさんの相談を受けており平成24年度の相談件数は416件、23年度は455件で、若干減っていますが、最近の傾向としては、物が送られてくるが、どうしたらよいかという内容が増えています。

○草賀章吉委員長

先ほどの緑地保全の件ですが民間に委託ということですが、どのような業者が調査をされるんですか。

●本多都市政策課計画係長

今回の緊急雇用は企業支援型緊急雇用という形の位置づけとなっており、10年以内に起業されたNPO法人だつたり、企業に委託をすることとなっています。具体的に緑の基本計画につきましては、まちづくりのコンサルタントの代表者等が集まったNPO法人に委託を出していきたいと考えています。

○草賀章吉委員長

そのような業者は掛川市にあるのか。

●本多都市政策課計画係長

掛川市にはありませんが、県内にはありますので、基本計画を策定するに当たり、品質や性能においても可能であると判断したところで今回の事業に手を上げさせて頂きました。

○草賀章吉委員長

掛川市の雇用には繋がらないという判断か。

●本多都市政策課計画係長

3名の新規雇用につきましては、掛川市内の方にも手を上げて頂ければ機会があります。緑の現況調査として、ため池の緑や、民間緑地も含まれますのでそのような場所を調査します。

●伊村義孝副市長

緊急雇用というのは、単純業務を緊急雇用として雇うということを考えられることが多いと思いますが、本来掛川市がやるべき業務だが、なかなか予算がなくて出来ないものを拾ってこれまでずっとやってきました。ですから9番も本来は掛川市緑のマスタープラン策定事業ということになると思います。そうなりますと通常のコンサルタントに委託料として計上することになりますが、そうすると財源の問題となります。しかし本多係長が説明したように受け皿の法人の規制

はあるわけですが、幸いにも県内にそれを見越したようなNPOが出来ているので、そこに委託をすると緊急雇用という事業で総額1,200万円を超える事業が100%補助で実施できます。しかも、3名は現況調査ということでそれほど難しくないと思いますが、そこで雇用が発生することになります。実はこれまでも掛川市はかなりのものをこのような形で緊急雇用を使っています。例えば5番の文化振興計画策定事業も緊急雇用で新規雇用を生み出しながら、市がやらなければいけないが、手をだせない部分を使っています。これは市長が国県の財源をたくさん使ってできれば100%補助を使って知恵を出せということです。掛川市はこれまでもやってきました。これが県内でも有数の緊急雇用を使っているということに繋がっていると思います。

第6款 農林水産業費

〔農林課、説明 10:29~10:34〕

〔質 疑 10:34 ~10:50 〕

○栗原通泰委員

この世界農業遺産になったことよって国や県から事業に対する補助金は全くないのでしょうか。これからそのようなことについて掛川市として話し合っていくということか。

●鈴木農林課長

制度として用意された助成制度はありませんので、国県に要望していくことも必要と考えています。

○栗原通泰委員

必要によりという範囲がちょっと理解できないですが、掛川のものであるけれどやっぱり世界遺産ということになれば国や県のものという位置づけになるわけですし、そのようにしていきたい訳ですよ。そのようなところで何の補助もないこと自体が腑に落ちないのですが。

●伊村義孝副市長

この間の一般質問でも回答させて頂きましたが、例えばビジターセンターなどを県にお願いするということがありましたが、先般も掛川選出の県会議員2人と1年間の行政的な打ち合わせを行いました。その節にも話をさせて頂きました。これから時間をおかず国県への支援策をまとめて市長を中心に強く要望していくつもりです。

○二村禮一委員

緊急雇用対策の8番の有害鳥獣被害防止対策事業ですが、私たちの住んでる南部地域では最近ハクビシンが出没して農産物の被害が出ていますが、先日も区長さんが大東支所に檻を買いに行ったが、大変不足しているということだったということだが、その対策について伺いたい。

●鈴木農林課長

今回の補正予算には計上ではなく、当初予算で計上していますが市にもそのような機器を買う予算を市の協議会として若干お願いしてきた経過もありますので、そのような中で拡充をしていきたいと思っています。

○山本行男委員

せっかく認定を受けて、例えば掛川の駅前是非常に暗い感じで、菊川は旗がなびいている。

市役所の階段は旗がいっぱいあるが、こんな感じで街を盛り上げるような事も必要と思うがどうか。

●伊村義孝副市長

駅前には懸垂幕があり、そこにはやる準備をしているが、旗はあまりやらない方が価値があるという話もあります。もう少し議論をしないといけないと思っていますが、駅には認知して頂けるような事をすべきだと思っています。上質の人たちの意見もありますが、大衆的に見れば駅前にはしっかりやりたいと思っています。

○山本行男委員

テレビ制作費もそうですが、QRコードは考えていないか。

●綱取商工観光課長

QRコードは、パンフレットに付いているバーコードにスマートフォン等をかざしますと、音声付動画で、説明を見て聞くことができる動画と印刷物が連動したパンフレットです。現在、竹の丸施設が動画と印刷物を連動させたパンフレットとして活用しています。

今後は、市内の観光地等を紹介する動画付きパンフレットとして作成できたらと考えており、例えば、世界農業遺産「静岡の茶草場農法」を紹介するパンフレットとして、粟ヶ岳、日坂宿、小夜の中山ハイキングコースを動画で紹介できたらと考えています。

○山本行男委員

私もその通りだと思います。前向きな検討をお願いします。

○栗原通泰委員

お金の話が出ましたが、これから東山日坂地域を考えたときの環境整備について青写真ができていて、それに対する総額費用についてどのように考えているか。

●伊村義孝副市長

どのレベルでやるのかということを含め意見統一が必要だと思います。竹嶋議員と市長とのパーク&ライドの件を見てもそれぞれの意見がかなり異なっているのでこの辺ならいいというを出して、世界農業遺産は継続が意味がありますので、時間をかけずにしっかりやっていきたいと思います。それから東山の茶草場を支援するお金をどう出すかですけど、先般これっしっか処の中田さんと話をしたときに、たとえば100g1,000円のお茶があってプラス100円とか150円乗せてその乗せた金額が茶草場を管理する費用として使いますということによっていけるのではないかと言っていました。今まで1,000円で売っていたお茶が茶草場農法のシールを貼って売ってみたところ1,250円でも売れたそうです。記念としてまとめて買った人もいたようです。世界農業遺産協力商品として金額の上乗せを明らかにして東山に届くという仕組みが出来るといふ提案もいただいているので、そのようなことも含めてどのようにお金を回すかということを考えていきたいと思います。

○中上禮一副委員長

テレビ番組の制作が54分ということですが、高いか安いかわからないが、54分はかなり長いと思うが、262万5千円でできるのか

●鈴木農林課長

提案を頂いてるテレビ会社がSBSですが、今まで世界農業遺産関連で前々から資料として集めていたものがあるということで、それに合わせて街の様子なども少し加えるということなので、この値段でも行けそうだという提案をいただいています。

全国放送ですが、SBSですので一時的に県内放送になりますが、その後BS-TBSの方で全国配信をやっていたらいいように聞いています。

○中上禮一副委員長

ナレーションとか有名人が入る予定はあるのか。

●鈴木農林課長

配役等については決まっています。

○中上禮一副委員長

先ほど副市長が知らない人もいたということだったが、せっかく放送するので全市民に対してPRというかそこをしっかりとやらないと効果が薄れてしまうので考えてほしいと思う。

●鈴木農林課長

その辺を踏まえまして、レポーターにつきましてはSBSのアナウンサー、ナレーションにつきましてはSBSの報道局の解説員の方を基本に考えていますが、そのような声もありますので、制作の過程で要請をしていきたいと考えています。

○高木敏男委員

茶草場の件ですが、農業遺産とか茶草場や茶草場農法という言葉もある。私は正確には静岡の茶草場農法という言葉で認定を受けたと理解しているが、どれが正解ですか。

●鈴木農林課長

議員がおっしゃったように農業遺産の認定を受けたのは、静岡の茶草場農法ということで認定を受けています。若干用語の使用がまちまちな傾向もあると思いますので、きちんと統一がされるように各方面にお願い等をしていきたいと思っています。

○山本行男委員

BSはいつ頃やるのかわかりますか。

●鈴木農林課長

放送時期については、10月から12月にかけてになると思います。

第8款 土木費

[維持管理課、説明 10:51~10:53]

[質 疑 10:53 ~10:58]

○竹嶋善彦委員

この路線は大型バスが通れるような幅員あるいは木がかなり出てたり、道路が崩れたりするので壁が出てたり、竹藪がひどくなっていたりというようなところがあるので、1,000万円の予算の中でどこまでの整備がされるのか。

●山本維持管理課長

1,000万円の予算につきましては、お話ししましたように25キロの区画線設置のみとなります。議員がおっしゃいました大型バスですが、日東畑総1号幹線につきましては、かなりの幅員があります。勾配もありますが十分通っていけるとと思います。また日坂東山線につきましては定期バスが通っている関係上、中型くらいまでは十分通れると思います。

路線図の上の部分につきましては、若干狭い状況となっています。先日、市の中型バスで現地を通行しましたが通れました、ただし対向車が来ると若干待避して待つてもらう事になります。中型バスまでの確認はしてありますが、大型までは確認していません。大型バスの確認についても改めて実施したいと思います。

○竹嶋善彦委員

どのくらいの観光客が来るかわかりませんが、やはり将来的に地域のことを考えれば大型バスが行き来できるような形に整備をしておくということも大切ですので、全体的に木とか壁とかそのような部分、それからどこをどうしたら広げられるのかその辺の調査までして頂きたいと思います。

●山本維持管理課長

先ほど木や竹が出ているという話がありましたが、日坂東山線の終点部分につきましては、かなり幅員も狭い状態で木や草も生い茂っている状態ですので、側溝に蓋をするだけでは拡幅出来ないものですから、全体的な拡幅につきましては、当課ではありませんが検討していくべきかなと私は思っていますので、また検討させていただきます。

●安藤環境経済部長

大型バスの関係ですが、7月の9日から21日にかけて8台ほどが視察に来ると聞いています。それは地域塾の方で対応するというので、いっぷく処を目指してくると思いますが、300名弱の人が来ると聞いています。

○竹嶋善彦委員

今の話はどちらから行くにしても、例えば下の道を通っていっぷく処に寄ってもらっても上はあんまり見えません。もう片方はビューポイントはあってもいっぷく処へは寄れません。だからぐるっと回らなければ意味がないのでお願いします。

○山本行男委員

実際どのくらいの方々が来てるの。

●安藤環境経済部長

5月30日に認定をされて、次の土日に体制を組みまして市の職員が張り付きました。その結果平常の土日をほぼ変わらない100名前後の方が見えたということでした。

第8款 土木費

[都市政策課、説明 10:59 ~11:00]

[質 疑 11:00 ~11:01]

○草賀章吉委員会

中心市街地の活性化基金の総額はどれくらいになっているか。

●榛葉都市政策課長

平成12年から積み立てを行っておりまして、平成24年度末の総額は約1億2,235万円となり、そのうち街づくり会社分は、今現在500万円を含めて4,600万円となっています。

○草賀章吉委員長

この財源はほとんど街づくり会社からの寄付金で4,600万円となっているという理解で良いか。

●榛葉都市政策課長

まちづくり会社は駐車場を経営しておりまして、その部分からの寄付を頂いております。全額そうです。

第11款 災害復旧費

〔土木課、説明 11:01～11:03〕

〔質 疑 11:03 ～11:06 〕

○山本行男委員

倒木被害は本当に多い。倒木被害で私も何件か市民からの相談を受けている。実質的には地主さんがやらないといけないけど、実際ほとんど手が入れられていない。当局も悩ましいところがあると思うが、これを繰り返していくとかなりお金もかかってしまう。その辺の対策はどうですか。

●山下土木課長

木の処理についてですが、おっしゃるとおり個人の財産ということで、立っている（生きている）木について市が直接手を出すというのはなかなか難しいものがあります。現在の市の対応としましては、木が倒れることによって交通に支障を及ぼすまたは倒れかかることによって明らかに交通に危険が生じているものについては、切らせてもらったり地主さんをお願いしたりしており、その辺が限界だと思っています。

○栗原通泰委員

66箇所のうち本工事的に必要な箇所はあるのでしょうか。

●山下土木課長

66箇所すべてが実際に何らかの工事が必要な箇所をあげてあります。ただその中には倒木の処理とか崩土といった土を取るだけのものもありますが、主には河川災などでは護岸をやらなければいけないということで、上げさせて頂いています。66箇所すべてが何らかの処理が必要としているという箇所になります。

○栗原通泰委員

仮工事をとりあえずやっておいて、後は本工事で直さなければならないという箇所はどの程度あるのでしょうか。

●山下土木課長

仮工事をやって本工事が必要な箇所は1箇所あります。場所は大東地区の大坪線がありまして、こちらの方は公共の方の災害の申請もさせて頂く中で、仮復旧の状態をとらせて頂いています。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第83号 平成25年度掛川市一般会計補正予算（第2号）

歳入中 所管部分

歳出中 第4款 衛生費（2項）

第5款 労働費

第6款 農林水産業費

第7款 商工費

第8款 土木費

第11款 災害復旧費

全会一致にて原案とおりに可決

②議案第84号 平成25年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第1号）について

〔都市政策課、説明 11:08 ～11:11〕

〔質 疑 11:11 ～11:15 〕

○高木敏男委員

モニュメントの照明ですが、単純にLEDに変えるのですかそれとも何か検討して意見があったりして別の照明の仕方があるのでしょうか。

●榛葉都市政策課長

照明施設が13基周りにあるのですが、それがすべてだめになっているという形ですので、その照明施設をLEDに変えるということで、元あったように照らすということを考えています。

○山本行男委員

駅の北口から南口に抜けるほのぼのパスの階段のところにスロープを作ってほしいという要望がある。なにか緩やかに登れるような工夫が欲しいというのがある。

●榛葉都市政策課長

ほのぼのパスの北側のサンクン広場にはスロープが設置してあります。南口については、今の階段の位置でスロープを付けるとなるとすごく距離が必要になります。北側は距離が稼げるので付けれるわけですが、今の形態ですと構造的になかなか難しいと思います。

●伊村義孝副市長

地下道は長いので、北側から緩く上げていけば費用とか掲示が無くなってしまおうと言う問題もありますが、直線で工夫してみたらどうか。

●榛葉都市政策課長

副市長の提案も一理はあると思いますが、ボックスの高さが決まっているので検証してみないとわからないですが、ちょっと難しいと思いますが、確認はしてみます。

〔討 論〕

なし

〔採 決〕

議案第 8 4 号 平成25年度掛川駅周辺施設管理特別会計補正予算（第 1 号）
全会一致にて原案とおりの可決

4) 協議事項

閉会中継続調査申し出事項 1 2 項目

閉会中継続調査申し出事項 1 2 項目で了承

5) 閉会 1 1 : 3 1